

事業番号	事務事業名	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費-食缶更新			所管課名	学校教育課	令和 3 年度課長名	金平 美和子	
06656-5	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名		担当者・シート作成者	難波 五八
	施策名	31	学校教育の充実			根拠法令等	鏡野町学校給食共同調理場設置条例 鏡野町学校給食共同調理場管理運営規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	テフロン付の食缶をテフロン無しの食缶へ更新する。	ご飯に異物が付いていたため成分分析を行いテフロンの成分と判明した。テフロンが付着したまま提供していたら異物混入になっていた。経年劣化したテフロンは剥がれるおそれがあるため。食缶については、テフロン無しへ変更することにした。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 児童生徒	ア 児童生徒数	人	見込 実績	974 962	974 974	977 964	964	964
イ 教職員	イ 教職員数	人	見込 実績	173 170	173 173	175 178	178	178
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 安全で美味しい給食を提供する	ア 安全で美味しい給食を提供された児童生徒数	人	目標 実績 達成率	974 962	974 974	977 964	964	964
イ	イ 安全で美味しい給食を提供された教職員数	人	目標 実績 達成率	173 170	173 173	175 178	178	178
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 給食を提供する。	ア 給食数	食	目標 実績 達成率	197,244	205,000 208,065	208,000 210,032	210,000	210,000
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 04		事業 中事業					事業番号			
	一般会計		教育費		保健体育費		学校給食共同調理場費 02		鏡野学校給食共同調理場臨時管理費-食缶更新								
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	0	0	990	0	0	990	一般財源	0	0	990	0	0	990				
合計			990			990	合計(A)			990			990				
財源名称							従事正職員人数			1			1				
							延べ業務事務時間			4			4				
							人件費計(千円)(B)			13			13				
	最終予算額		990 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		1,003		1,003				
主な支出事業内容(予算)	備品購入費						990 千円		主な支出事業内容(決算)	備品購入費						990 千円	

事業番号	06656-5	事務事業名	鏡野学校給食共同調理場臨時管理費-食缶更新	所管課名	学校教育課
------	---------	-------	-----------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和2年から調理業務を東洋食品へ委託している
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
購入から10年を経過しており経年劣化によりテフロンが剥がれた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
異物混入になると

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 安全で美味しい給食を提供するため異物混入を回避しなければいけない
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 調理業務は委託しているが調理場の備品や設備については町で管理している。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 安全で美味しい給食を提供するため異物混入を回避しなければいけない	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 テフロン無しの配缶にすることでテフロンの経年劣化による異物混入を防げる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 異物混入につながる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 なし	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 なし
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 なし	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 なし

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	配缶中のご飯に異物が付いていたため成分分析を行いテフロンの成分と判明した。テフロンが付着したまま提供していたら異物混入になっていた。経年劣化したテフロンは剥がれるおそれがあるため。食缶については、テフロン無しへ変更することにした。異物混入防止のため早急な対応が必要であった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 今後テフロン付の配缶は使用しない。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
なし																									